

バイオスター ヒューズ交換方法

バイオスターの電源が入らなくなってしまうときはヒューズ切れの可能性があるので、以下の方法をお試しください。

【バイオスター6型 SN:60036以降 ~ バイオスター7型】

バイオスター背面に2か所ヒューズボックスがあります。



大きめのマイナスドライバーで、軽く本体側（奥側）に押し込みながら、矢印の方向に回します。

※幅が小さいドライバーを使うとマイナスの穴が削れてしまうことがあります



ヒューズボックスが取り出せたら、ヒューズを交換します。（ヒューズの規格等についてはマニュアル後方を参照ください）



戻すときは上記と逆のステップ（軽く押し込みながら矢印と反対方向に回す）で取り付けてください。

この時、軽く止まるまで回していただければ問題ありませんので、強く締めすぎないようにしてください。

【バイオスター5型 ~ バイオスター6型 SN:60035 まで】

バイオスター背面 電源コード差込口の直下にヒューズボックスがあります。



ヒューズボックス上部に付いているツメを強く押し下げながら、手前に引き抜いてください。



ヒューズボックスからヒューズを抜いて交換します。

その後、ヒューズボックスを「カチッ」というまでソケットに押し込んで交換完了です。



◆ ヒューズ

交換の際は、お出入りのお取扱店様に下記の商品をご注文ください。

ヒューズが切れた時のために、いくつか在庫しておくことをおすすめします。

- 商品番号：3100941
- 商品名：スローブローヒューズ S10A バイオスターV-VII共用（1本）
- 規格：S10A250V



※バイオスター購入時についているヒューズの規格はタイムラグヒューズ（TT10A250V）です。

各自ご用意いただく際は、なるべく切れ辛い規格の10Aヒューズを選定ください。

※ヒューズを2本交換しても電源が入らない場合は他の箇所の故障になります。

その際はお出入りのお取扱店様へ修理をご依頼ください。

【特別編：応急処置について】

お急ぎの際は、下記の処置により数日程度であれば使用可能になります。
また、ヒューズ切れか、機械自体の故障がどうかを判断する方法としても有効です。

まず、ショートしたヒューズと、アルミホイルを用意し、ヒューズにぴったりと沿うように2周ほど巻き付けます。



アルミホイルが破れないよう、ヒューズボックスにセッティングし、本体に戻します。



アルミホイルを伝って電気が流れるようになり、一時的にバイオスターが使用可能になります。

ただし、本方法は応急処置ですので、必ず新しいヒューズをご用意ください。

株式会社 JM Ortho

2022.4.1 作成